



- CONTENTS**
- 大注目！ JKHD 未来研究所東京ショールーム…p.1
 - アートパラ深川おしゃべりな芸術祭／第28回雙環フォーラム／第35回関西ジャパン建材フェア…p.2
 - トップ対談…p.3
 - ジャパン建材エコブランド「J-GREEN」ご紹介…p.4~5
 - 商品情報…p.6
 - イチオシ！ Bulls / 電材課 商品紹介 E.COLLE…p.7
 - ブルズ木材会メンバーご紹介 ⑬ 有限会社カネサダ横尾木工所様 / 合板天気図…p.8

大注目！

JKHD 未来研究所 東京ショールーム



JKホールディングスが新宿のリビングデザインセンター OZONE6F に2022年10月3日にオープンした「JKHD 未来研究所」。
商社機能を存分に生かしたショールーム内の様子をご紹介します！ 気になった方は是非ご来場もお待ちしております。



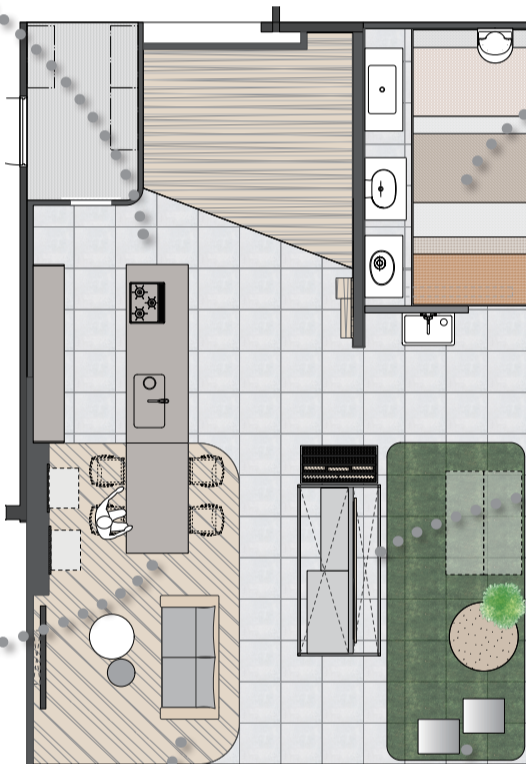
家具のようなキッチン

メラミン天板のキッチンはリビング空間にもよく馴染むため、今ハヤリのレイアウトにピッタリ！



キッチンと繋がるダイニング

メラミンだからテーブルも同じ素材が可能！
シューズボックスや洗面台まで同じ素材・色で統一することができます。



オシャレな造作洗面

今ハヤリの造作洗面を提案するなら
ジャパン建材オリジナルのmoki (モキ)。
ショールームで実機を見ることが可能です。



今までにない内装建材

LVLの断面をあえて見せるアイテム。
「他と被りたくない」というお施主様にピッタリ。



ペットと過ごすリビング

犬に優しい提案を詰め込んだリビング空間。
大型モニターでは、ショールームに置ききれない沢山の商品をご紹介します。
商社だからご提案できる商品数は無限大!! 是非ご活用ください。



楽しいが見つかるガーデンアイテム

お庭でのバーベキューアイテムや、足ざわりが最高のリアル人工芝など夢膨らむアイテムが沢山！

住 所 東京都新宿区西新宿 3-7-1
新宿パークタワー OZONE6 階
営業時間 10:30 ~ 18:30
休 館 日 水曜日(祝日除く)、年末年始、夏期休館あり
予 約 先 03-6258-0360

アクセス・JR「新宿」駅南口から徒歩約12分
※新宿駅西口「新宿エルタワー」1階から新宿パークタワー直通
シャトルバス便(無料)がご利用いただけます。
・京王新線「初台」駅から徒歩約6分
・都営大江戸線「都庁前」駅A4出口から徒歩約8分

Instagram



ホームページ



ARTPALA FUKAGAWA 2022

アートので障がいの壁を超える

アートパラ深川おしゃべりな芸術祭

2020年から始まり今年で3年目。障がいのある方々のアート作品を東京都江東区深川エリア【門前仲町/清澄白河/森下】全体に展開し街全体を美術館にしようと地元の方々が主体となって開催する芸術祭。

テーマは【共に生きる】

弊社は地元企業として地域活性化、障がいのある方々との共生社会の活動そして、社会貢献の一環として企業協賛をさせていただきました。



富岡八幡宮

『みんなのアート絵馬神輿』



富岡八幡宮

清澄庭園・大正記念館

街全体に“450点”を超える素晴らしいアート作品の数々



ARTPARA
FUKAGAWA

ジャパン建材賞
伊藤 恭介 氏

『作曲家たち1』

ジャパン建材賞には伊藤恭介さんの『作曲家たち1』という作品を選出いたしました。理由として作曲家たちの肖像画を多彩な色づかいで愛らしく表現されており、親しみを非常に感じさせてくれるからです。伊藤さんにはこの作品のみではなく歴史上の人物や偉人の方の絵を描いてもらうのも楽しみにしています。作者の伊藤恭介さんは双子で応募され、弟の駿介さんも受賞されていました！本当におめでとうございます。



▲授賞式での記念撮影

ジャパン建材株式会社
代表取締役 社長執行役員
小川 明範

芸術祭の詳細内容はHPをチェック▶
<https://artpara-fukagawa.tokyo/>



第28回 双環フォーラム

2022年11月10日(木)、本社新木場タワー1階大ホールにて、「第28回双環フォーラム」を開催いたしました。当日は、コロナ禍以降約3年ぶりのリアル開催の中、多くのお客様・仕入先様にご参加いただきました。講師には株式会社第一生命 経済研究所 首席エコノミストの永濱 利廣氏をお招きし、『日本病 どうして日本の国力は30年以上も低下し続けているのか?』と題して、ご講演いただきました。

永濱氏は、バブル崩壊以降、日本の長期化した4低(低所得、低物価、低金利、低成長)状況を「日本病」と名付け、海外との比較や日本の独特な事情も説明しながら、この「病」の現状と解決策をご説明していただきました。

また、講演後の対談では、日本経済の起爆剤はモノづくり日本の復活であると説かれ、日銀総裁人事や日本林業の可能性等、著書では触れられていないお話もしていただきました。

次回の双環フォーラムは、2023年5月12日(金)に開催いたします。是非お楽しみに!



株式会社第一生命経済研究所
経済調査部 首席エコノミスト
永濱 利廣 氏



講演会終了後の記念撮影

各地のジャパン建材フェア

10月25日/26日

第35回 関西ジャパン建材フェア 大阪南港 ATC ホールにて

10月25日(火)、26日(水)大阪南港ATCホールにおきまして、先日開催した福岡ジャパン建材フェアに続き、約3年ぶりに第35回関西ジャパン建材フェアを開催いたしました。コロナ禍での開催となりましたが関西全域から1,800名を超える多くのお客様にお越しいただきました。

フェアのテーマを『さあ、再開だ。』と題し、3つの意味を込めました。

1. 展示会の再開 2. 新たな取組への再開拓 3. オンラインではなく“人と人”が出会う再会
掲げたテーマの基、大抽選会、セミナー、来場特典など様々なイベントをご用意いたしました。

また、当社プライベートブランドである Bulls / E.COLLE (電材) / J-GREEN とともに特価市場も大盛況に終える事ができました。



会場全体風景



出展メーカー様代表挨拶
大建工業株式会社 執行職 近畿支店長
陰山 恵 様



出展メーカー様Vコール
TOTO 株式会社 様



社員朝礼若手社員Vコール
ジャパン建材株式会社



合板・木材販売風景

株式会社 スガノ

【会社概要】

本社 広島県広島市南大洲1丁目9-22
 創業 1902年(明治35) 菅野木材店
 設立 1946年(昭和21) 菅野製材株式会社
 1981年(昭和56) 株式会社スガノに改称
 2011年(平成23)
 株式会社スガノホールディングスに商号変更、
 新設分割により株式会社スガノを新たに設立
 資本金 5,000万円
 従業員数 75名
 【事業内容】
 木材・建材・プレカット製品の販売

株式会社スガノホールディングス
 代表取締役会長

菅野 康則 様

すがの やすのり

【プロフィール】

1951年(昭和26) 広島県広島市生まれ
 1973年(昭和48) 松山大学卒業
 菅野製材株式会社に入社
 1981年(昭和56) 株式会社スガノ
 代表取締役専務に就任
 1995年(平成7) 代表取締役社長に就任
 2021年(令和3) 株式会社スガノホールディングス
 代表取締役会長に就任



株式会社スガノ
 代表取締役社長

三原 聖史 様

みはら せいし

【プロフィール】

1978年(昭和53) 岡山県生まれ
 2000年(平成12) 岡山県生まれ
 広島工業大学専門学校卒業
 株式会社スガノ入社
 2014年(平成26) 木構造部 部長に就任
 2016年(平成28) 取締役営業統括部長に就任
 2017年(平成29) 株式会社スガノホールディングス
 取締役就任
 2021年(令和3) 株式会社スガノ
 代表取締役社長に就任



http://www.sgn-g.co.jp
 ▲詳細はこちらから



瀬戸内地域の工務店様・ビルダー様と一つになって、あなたのマイホームづくりの全てを応援します。

創業120年を超えて

小川 ご創業120年おめでとうございます。
 菅野 ありがとうございます。

小川 ご創業の経緯を、聞かせてください。
 菅野 もともと高祖父が菅野家具店を営んでいて、その長男・和一が菅野家具店を継ぎ、次男の金次郎は分家して家具製造・販売を始めたのですが、家具製造用のモミの木を調達するために山を買ったそうです。

皆伐してみるとモミ以外の木が沢山あって、その処分に困って家具製造の傍ら菅野木材店を始めたので、「山だけは買わない」が曾祖父の遺言だと、中学生の頃に曾祖母から聞かされました。その息子が二代目の菊太郎、その11人兄弟の末弟が三代目の春馬。四代目が私の父・清一、私は五代目です。

創業120年を超えましたが、1941年(昭和16)に木材統制法で廃業、1945年(昭和20)には原爆投下。爆心地から150mの菅野家に前夜から法事で家族が集まっていたため、ただ一人全身火傷を負いながらも一命をとりとめた祖父が、疎開していた曾祖母のもとへ2日かけて歩いてたどりつき、長男の清一に全財産を託すように遺言して8月14日に息絶えたそうです。

小川 お祖父様の命を懸けた禱が繋がれて、今があるということですね。

菅野 父は、1941年(昭和16)1月に軍に徴集され、一時は中国大陸にもいましたが、終戦前に宇都宮に配属されて生き残ることができました。11月に帰郷して資金はあったものの、焼け野原の広島で木材業が成り立つものかと、父が相談に行ったのが、菊太郎と親交の深かった全国木材組合連合会の初代会長をされた天塩川木材工業の創業者・松浦周太郎さんと、フィリピンのラワン原木輸入を一手に担った日比貿易の堀田彦次郎さんでした。

小川 広島の木材業界に留まらず、日本の木材産業の重要な一翼を代々担っていらっしゃるんですね。

菅野 実は今年、全国木材組合連合会会長に就任して全木連会館で初代会長が松浦さんだったと知って、因縁を強く感じました。
 戦後、春馬が社長、父が専務で設立した菅野製材株式会社は、1954年(昭和29)に中国地方で初めてフィリピンから丸太の直輸入を始めました。また昭和30年代初頭の松下電工のパネの時代に代理店になり、パネとパーティクルボードを接着剤で貼ったものを電気こたつの天板用として納材。その後も、ハードボードを車の内貼り用に高圧プレス整形したパネル、トラックフローリング用人工乾燥木材の製造も手掛けました。

30歳で専務、小売を開始

小川 菅野会長は、物心つく頃から跡継ぎの意識をもっていらっしゃいましたか。

菅野 中学生の頃から春夏の休みには必ず製材工場を手伝いました。高校生の頃はフローリングを2束ずつ6t車に積み込む作業で鍛えられ、歩留まり計算もできるようになっていくらしいです。それでも絶対に継ぎたくないと思っていました。

ところが、高校3年生の時に父の友人に諭され、父に「後を継ぐ」と告げました。大学に入学すると、入学した年の6月から約2か月間、マレーシアの道なきジャングルへ防虫剤を背負って分け入り、合板のフェース用に

使えるように原木に防虫処理作業をさせられました。

小川 過酷な体験もされたんですね。

菅野 はい。南洋材は価格の乱高下が激しく、仕入れる時期を間違えると大赤字が発生することも経験しました。南洋材主力の製材工場を縮小し、価格の安定した米材の時代に入り、当社は、米ツガの無地ものの製材を始めました。さらに、車両材には以前から人工乾燥していた技術を応用し、変色で価格が大きく変化するベトナムマツを高級緑甲板に加工販売することに活用しました。また、精度を要求される含水率15%以下の家具材製造技術を活用し、内装材を最終仕上げすることを始めました。南洋材の加工販売までの技術、次に針葉樹の加工技術を取得し、その技術で生み出された木材を材木店に卸すと好調な売れ行きでした。ただ、その評価が低いと感じ、より付加価値として評価していただくために、小売を手掛けました。同時に建材販売も卸から転換し、松下電工のシステムキッチン設計施工店「リビングプラザ」を核とする小売部門も併設し、従来の製材・家具用部品の卸売部門とに組織変更しました。

小川 その頃に社名を変更されたんですね。

菅野 はい。また、家具工業組合の展示会が「一般のお客様入場お断わり」だったことに疑問を覚えました。当時、松下電工の展示会では一般のお客様を積極的に入れ、商品開発のために消費者ニーズを探ろうとしていました。また永大の下駄箱も登場し、ノックダウン方式で寸法精度が出せる、作り付け家具の時代が始まろうとしていたからで、弊社も積極的に販売してゆくのに、社名が製材では業容と合わなくなりました。

また1979年(昭和54)には、日本初の本質バイオマス自家発電など新しいことへの挑戦をさせてくれた先代の父に感謝もし、喜んでくれましたが、反面、1985年(昭和60)には「父の魂」の製材を止め、大きな落胆もさせました。

小川 社長ご就任前から経営判断も任されていたということですね。

人を育てて事業承継

小川 社長ご就任は、おいくつでしたか。

菅野 44歳、父は75歳になっていました。仕事の内容は何も変わらなかったのですが、まだ父の世代の先輩方がみなさんお元気で、プレッシャーをひしひしと感じました。

小川 三原社長にバトンを渡すに当たって、痛みを知るお立場からの配慮もされたのではありますか。

菅野 そうですね。私の息子が異業種に就職して、こちらに戻る意思はないということでしたので、ならばと、欲がないと人は育ちませんから、入社と同時に「どうすれば1000万円稼げますか」というような質問をする、夢と希望と欲をもって就職してくれた若者を後継者に育てよう決めました。

小川 その方が、三原社長、その人ですね。建築系の学校ご出身で、建築士の資格をお持ちですね。

三原 祖父が、私が子供の頃に建築現場に連れていってくれました。その時の木材の香りが記憶にあって建築を選んだ次第です。在学中に二級建築士資格は取ったものの、建築を仕事にする決断ができないまま、卒業後は岡山に帰ろうかと思っていました。そんな時、

スガノに就職が決まった同級生から、まだ人を探しているらしいという情報を得て、卒業寸前の2月に、初めての会社訪問でスガノに来て、面接いただいたのが菅野会長でした。

小川 人の縁ですね。

三原 最初は運輸倉庫部、次に木構造部のプレカットCADに配属された時に、会長から「おまえは、1000万円稼ぎたいとか言っているけど、このまま勉強しないでいると、多言語が話せる優秀な外国人にこそ使われるようになるぞ」と言われ、身が引き締まる思いがしたのを今でも覚えています。その時、構造計算の時代が来るから勉強してみないかというきっかけを貰いました。それからですね、構造計算を勉強し始め、自分で仕事をする意識が芽生え、自分の能力で稼げるのがわかってきて、構造計算だけで食えるかもしれないと思った時期もありました。

会長からもっと学べと直接言われたわけではなく、娘が生まれたのを機に一級建築士資格を取ろうと奮起したところ、運よく一発で合格しました。

小川 一発で合格は凄いですね。

三原 その頃から財務諸表を見せてもらい、自分の部署の損益計算をするようになり、会社の全てを自分事として意識するようになりました。

実にいろいろな経験をさせてもらって、プレカット工場更新の際には機械メーカーさんと打ち合わせて作った計画案を提出しましたが、会長から「自分にこうしたいというビジョンが描けないようでは、お客様の要望も汲めない」と叱られました。厳しい会長ですが、社外でも会長の凄さを聞く機会が度々あり、尊敬の念を強くしていました。

小川 真剣だからこそその厳しさでしょうね。

三原 新たな事業を始める際にもかかわらせてもらい、新たなポジションをもらう度に気づきももらい、育ててもらっている愛情を強く感じています。

野望はあったし、負けたくない、素晴らしい経営者にはなりたくない、でも自分に何ができるかわからない、そんななかでも、「志を持って」と言われ、鍛えてもらって、自分の野望とスガノの理念が徐々に近づいてきたと感じています。

さらに、会社の事業が社会にとってどうあるべきか、何に価値をおくべきかを考えるようになりました。

小川 社長ご就任が結果ではなく、これからですかね。

菅野 三原はたいしたもの。上昇志向をもつ、事業をこうしたい、ああしたいと思う人が経営するほうが、会社にとって、社会的な企業の責任を果たすにも良いと思って育ててきて、一級建築士資格を取ってくれたので、最短コースで事業承継できたと思います。

実は、私が30歳前で年商20億円の頃に製材所が毎月1000万円の赤字を出し、何をしても売れない、大変な目に会い、悩んだこともありませんが、そこをクリアするためにどうするかを懸命に考える、後継者にはその意志があるだけで良いと思います。

私がいつも言っているのは、「税務署」「労働争議」「赤字」の三つを食い止める経営者にならないと、強くはなれない。でも、必要以上にプレッシャーを感じないで気楽にやってもらう環境も作らないと代表者を受け取ってもらえませんし、新しい挑戦もできませんからね。

小川 今のお話には、どうすればジャパン建



材育ちのプロパーが経営を引き継いでいけるか、後継者が感じるプレッシャーに配慮して、どのように期待し、どう接していくべきかの示唆が含まれていて、私にとっても非常に参考になります。

菅野 2000年(平成12)に品確法ができて建築基準法が改正され、構造計算が誰もできない時に私が研修を受けて人脈ができて、三原にも構造計算という最先端を走らせた。自分がやっていることに世の中が追いつこうとしていることを実感できたことが、三原の大きな自信になったと思います。

その後も、プレカット工場更新の際などに補助金を貰えるものについては、収支決算・長期事業計画などの書類を自分で作らせるようになり、それで補助金ももらえました。そういう環境に置かれて実践することが、徐々に実力を養っていくと思います。

人も、事業も、10年先あるいは20年先に照準を合わせて、長い目で育てていくことが重要だろうと思います。

広島から世界を視野に

小川 これから三原社長の目指す方向性やチャレンジしたい事をお聞かせください。

三原 プレカットから構造計算まで木材に関する技術にかかわってきましたが、住宅に限らず建築は全てがITだけで賄える業界ではないと思います。私たちには木材や資材の供給も含む役割も出てくると思います。そこに向き合っていくことが必要だと改めて感じています。

私は技術分野を進んできた人間なので、そこは失いたくないと思いますし、広島を中心に、スガノが必要とされる企業にしていきたいです。建築関連でもさらに活躍できる会社にするなど、新たな事にチャレンジしてきたスガノイズムを脈々と受け継いで、野望をもって活躍できる人を増やしていきたいです。

また、川上から川下までのあり方を変えなければならぬのは日本だけの話ではないと思いますので、どこがゴールかはわかりませんが、森林資源を活用した産業を発展させ、世の中に繋がるように志を高くもっていきたいと思います。

小川 住宅を掘り下げていくと木一本から始まる、自然相手の仕事だと思います。それをいかにテクノロジーとベストミックスしていくかが求められています。そこにどう向き合っていくか。当社も、社員一人ひとりが「2030年に自分たちが働いていた企業」にバージョンアップするために社員の総意で実践し、成長実感や達成感を覚え、喜びを分かち合える企業にすることを目指して、さまざまな課題解決に取り組んで参ります。

全国と同業者の課題になっている事業承継の実践例の貴重なお話を聞かせていただき、本日はありがとうございました。



ジャパン建材のエコブランド

「J-GREEN」は、木材製品のエコブランドです。
 合法性等に配慮した製品、環境にやさしい製品を選定し、
 国内外での普及に向けて取り組んでいます。

信頼&安心「J-GREEN」事業の取り組み



管理された森林

各地域の法令に沿って伐採



生産・加工

製材工場・合板工場で加工



流通

各施設・建物に納入



豊富な商品知識をもとに、メーカー、仕入れ先様と連携し、お客様のニーズに合った商品を企画、ご提案します。



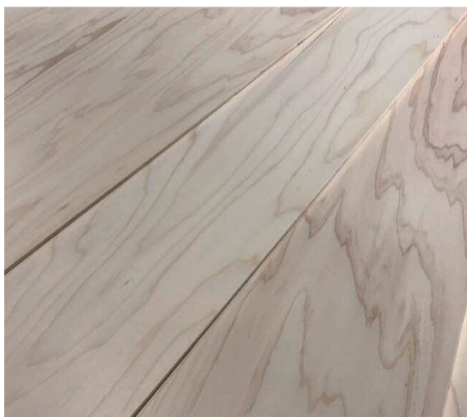
国内外に広がるネットワークで買付から出荷まで一貫した品質管理のもと、確かな商品を安定供給できる体制を整えています。



全国各地で開催している展示会で「J-GREEN」コーナーを設け、環境配慮型商品の普及、環境意識の向上に取り組んでいます。

未来のための国産材利用促進

全層国産桧 5.5mm 合板



日本では7割を占めている人工林を適切に管理し循環させるため、国産材の利用促進が求められるようになりました。森林を循環させることでCO₂の削減になり、また地域の木材を使用する事で地域貢献にも繋がります。

桧には特有の香りがあり、リラックス・癒し効果があるとされています。ジャパン建材の桧合板ならではの美しい表面が特徴で、内装用としては勿論、様々な用途で使用が可能です。

構成材料	国産桧
認証・認定	JAS F★★★★
性能・品質	特類2級C-D
規格	5.5mm × 910 × 1820
特徴	国産材活用・脱臭・防蟻・芳香性 森林浴効果・価格の安定
主な用途	押し入れ・内装(現し)・有孔加工

高品質な杉材に独自技術で防腐・防蟻処理

国産杉 (薬剤注入) 下地用材

杉未乾燥材に防腐・防蟻剤を独自技術<加圧注入処理>で含浸させ、腐れ・劣化を遅らせ木材の耐久性を向上させた商品となります。下地用材としてご使用ください。



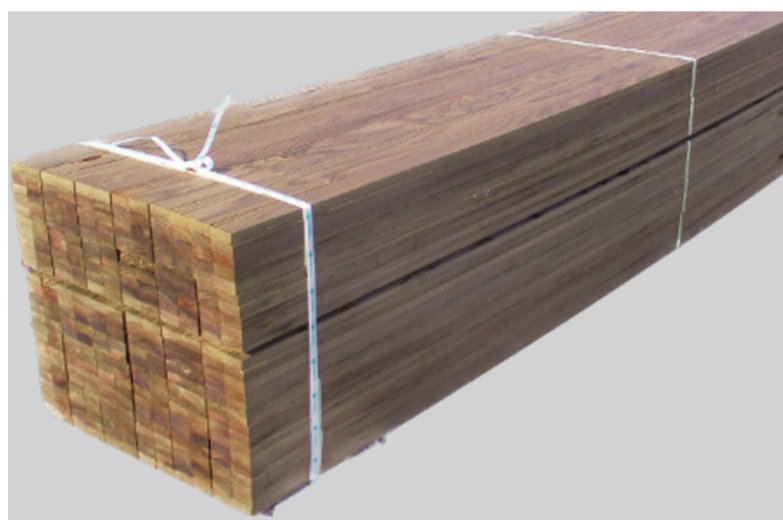
構成材料	杉
性能・品質	加圧注入処理にて腐れ、劣化軽減
規格	14・15・18×45×3000/3650/4000 mm【胴縁】 14・15・18×90×3000/3650/4000 mm【貫】
特徴	耐久性・加工性・施工性
主な用途	外壁・屋根下地

タナリスCY

処理方法・・・加圧注入処理銅化合物主体の防腐・防蟻剤で処理したモスグリーン色の製品です。住宅の「防腐・防蟻処理が必要な個所」に対応ができます。

ペンタキュアニューBM

処理方法・・・加圧注入処理ヤシ油を原料とした防腐・防蟻剤で処理した無色または赤色の製品。住宅の「防腐・防蟻処理が必要な個所」に対応ができます。



『宍粟：しろう』の森で伐採された原木を使用、高品質な杉材

国産杉 未乾燥 / 乾燥 羽柄・下地用材

兵庫県は県土の7割が森林、過去から植栽が盛んに行われ『ひょうごの木』『しろうスギ』の愛称で環境に優しい天然資源として活用されてきました。その、宍粟の杉原木を高精度な製材技術で製品化し皆様にお届けします。羽柄、下地用材としてご使用ください。

構成材料	杉
性能・品質	乾燥材は含水率20%以下
規格	15×45×3000/4000 mm【胴縁】 16×40×4000 mm【胴縁】 15×90×3000/4000 mm【貫】 30×40×4000 mm【天井野縁】 35×35×4000 mm【天井野縁】 他
特徴	加工性・施工性・寸法安定性
主な用途	端柄・下地



足踏みレバー水栓 KAKUDAI® FUMFUM (踏む踏む)

株式会社カクダイ

- ペダルを踏むことで水が出るフットバルブ式水栓「踏む踏む」は、非接触なので衛生的！
- ハンドルまで手を伸ばさなくてもよく、軽い力でレバーの操作ができるため、小さな子どもでも簡単に操作できる電気工事いらすのディスプレイ水栓です。
- 踏むと吐水、はなすと止水ができます。
- 壁・床給水を問わず取付が可能です。

※水栓は各種ございます。また、別途足踏みレバーユニットが必要となります。

仕様

- 足踏みレバー部の固定：4点ビス仕様
- 材質(足踏みレバー部) 本体：青銅、レバー：亜鉛、カバー：PP
- 使用圧力：0.1～0.75MPa(静水圧)
- 使用水温範囲：1～50℃(一般水道・凍結不可)
- 参考取付位置：床から器の天面(洗浄面)まで800ミリ
- 通常の仕様では、寒冷地(凍結する恐れのある場所)での使用をお控えください。万が一、凍結する恐れのある場所で使用される場合は、予め配管途中に水抜きニッブルを取付けて、水抜きを行ってください。



体組成計付き高気密型床下点検口 NORNE (ノルネ)

城東テクノ株式会社



体組成計付き 高気密型床下点検口



体組成計付き高気密型床下点検口

- タニタ社と共同開発！
- 体組成計の出し入れの面倒がない。

床下点検口に体組成計が一体化。今まで出し入れの必要があった体組成計が、常に目に入る活動線上にあることで、毎日の健康チェックを習慣化できます。

体組成計は TANITA 製のハイスぺックモデルを採用！乗るだけの手軽さで、体重・体脂肪率はもちろん、筋肉量や内臓脂肪レベルなど10項目の計測が可能です。

測定データはアプリで管理！

専用アプリとの連動で、スマホで日々の測定データを管理できます。

高気密型床下点検口 (専用品)	
品番	SPF-R6060TS-WT
色・柄	ホホワイト (※1)
タイプ	600×600 タイプ シート貼り完成品 (※2)
材質	【蓋】縁材：PP、底蓋：ABS、【枠】PP
床開口寸法	606mm×606mm
断熱仕様	標準型
梱包	1セット/ケース
定価	オープン

体組成計 (専用品)	
品番	RD-60S
梱包	1台/ケース
定価	オープン

※1 NORNEの高気密型床下点検口の枠は専用のホホワイト色です。他の高気密型床下点検口の枠にホホワイト色の設定はございません。
※2 点検口の蓋は、シート貼り完成品ですので現場で蓋を組み立てる必要はありません。



手軽に省エネ

ハニカム・サーモスクリーン

しっかり断熱の
ダブル構造!

W構造で
しっかりガード

アルミサッシ + 1枚ガラス

熱貫流率 **6.51 W/m²·K**

エアコン電力量 **1000 kWh**

ハニカム・サーモスクリーンを設置

電気代約20%節約

熱貫流率 **2.42 W/m²·K**

エアコン電力量 **790 kWh**

たためる棚受でスペース節約

折りたたみ棚受 EBD-A型

2本あたり
最大 **100kg**

ダンパー内蔵で安全

保持機能付

長い棚でも楽にたためる!

一括解除レバー(別売)

詳細

SUGATSUME スガツネ工業 東京都千代田区岩本町 2-9-13 TEL: 03-3864-1122(代)

イチオシ! Bulls

Bulls

LAUNDRY HOLDER & POLESET

ランドリーホルダー & ポールセット

たぶん
一番かっこいい。



new release

お問合せは、ジャパン建材各営業所までお願いします。

電材課 商品紹介

E.COLLE

災害時の携帯電話の充電が気になるね



年々電気代が
上がっているの
どうにかならないかしら?



ワンストップ

太陽光発電システム

まるサポ

製品保証 施工 申請代行 まるごとサポート

太陽光発電、蓄電池システムに関する製品保証、
施工*、申請代行*など、すべてお任せください。
※業務の範囲については、別途お問い合わせください。

太陽光発電
義務化問題、どうする?



停電時に冷蔵庫が
止まるのは困るわ



環境にやさしく、光熱費削減にも貢献

太陽光発電システムは、近年の電気代の高騰対策、台風や地震などの災害に備えた家づくり、地球環境の改善のためのCO2の削減など暮らしを守る優れた設備です。



太陽光発電、蓄電池システムに関する製品保証、
施工*、申請代行*など、すべてジャパン建材にお任せください。
※業務の範囲については、別途お問い合わせください。



電気を「つくる」「ためる」「つかう」

住宅用太陽光発電・蓄電池システム

太陽光発電システムは、ご家庭で電気をつくり、ためて、使うことができるシステムです。電気料金の負担を軽減し、停電や災害の備えにもなります。また、CO2を排出しないクリーンエネルギーなので、深刻化する地球温暖化を食い止める鍵となり、私たちのくらしの未来を守ります。

充実した長期安心保証の太陽電池モジュール

住宅とともに長期にわたり安心してご使用いただくための保証をご用意しています。

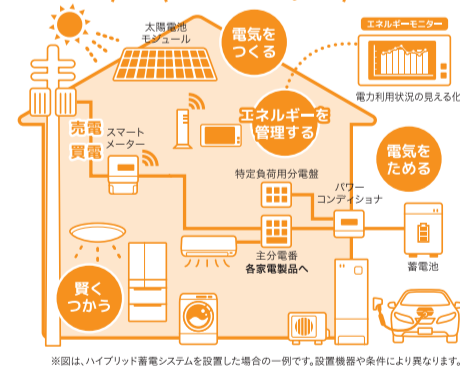
XSOL保証 (システム保証)	モジュール 出力保証
15年*	25年

※ハイブリッドシステム保証の保証期間は10年になります。

どのくらいおトクなの?

導入後の方が、年間116,331円おトク!

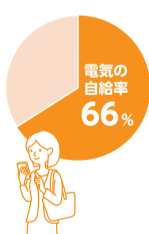
■設置地域:東京都
■電力会社:東京電力エナジーパートナー(スタンダードプラン:50A、350kWh/月)
■太陽電池モジュール:XML120-380L 12枚 ■ハイブリッド蓄電池システム:5.0kWh
※シミュレーション結果は独自の基準で試算したものです。実際値とは異なる場合があります。その結果を保証するものではありません。(2022年5月データ)
※天候、太陽光発電システムの設置条件、影の影響等によって実際値は変動します。
※太陽光発電で発電した電気は家庭内で優先使用され、使わずに余った電気が蓄電池に充電されるものとしています。蓄電池が満充電まで満した場合は、余った電気が充電されるともして試算しています。蓄電池の設定モードによっては結果が異なる場合があります。
※太陽光発電および蓄電池の電気が家庭で使用する電気の量に満たない場合は、電力会社から購入するものとしています。



※図は、ハイブリッド蓄電池システムを設置した場合の一例です。設置機器や条件により異なります。

年間の電気代

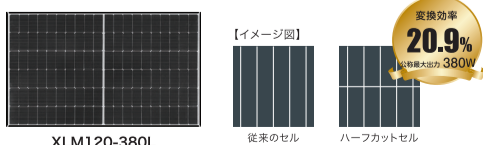
導入前	電気代	134,967円
	売電収入	0円
導入後	電気代	支出DOWN ↓ 52,536円
	売電収入	収入UP ↑ 33,900円
経済効果	削減できた電気代	82,431円
	売電収入	33,900円



太陽電池モジュール

外形寸法:1755×1038×35mm

ハーフカットセルの採用により発電効率を向上
セル内部の電気抵抗が低減され、抵抗熱発生による出力減少の抑制につながるハーフカットセルを採用しています。



住宅用ハイブリッド蓄電池システム

リン酸鉄リチウムイオン電池を採用し、
高い安全性を実現

4.95-5-XSOL-L
4.95-10-XSOL-L



実行容量5kWh 実行容量10kWh

ブルズ木材会メンバーご紹介 13

ブルズ木材会は、日本国内の地域ごとに特色ある木材・製材品をより多くの皆様に適材適所にご活用いただきたいとの思いから発足した国産材のスペシャリストのグループです

有限会社 カネサダ横尾木工所

【会社概要】

代表取締役 横尾 達也 様
 住 所 〒 877-0073
 大分県日田市日ノ隈町 311 番地
 TEL 0973-22-5001
 FAX 0973-22-0676
 創 業 1960年9月
 立 立 1986年1月
 資 本 金 500万円
 従 業 員 数 10人



【事業内容】

当社は国産杉桧を使用した内装建材（天井・壁羽目板、フローリング）・各種造作材・造作用集成パネル・不燃木材を製造販売しております。特徴としまして燻煙熱処理を行っており、木材の反り曲がりや収縮の抑えられた品質の高い製品となっております。また各種製品は在庫しており注文が入り次第、全国宅配で即納できるように心がけています。

製品としましてはハイブリット集成パネル『虹彩杉』や不燃木材など一般住宅だけではなく非住宅の分野にも使用できるような製品も取り揃えています。そしてこれからも新しい製品の開発や新しい分野への挑戦を続けてまいります。



合板 天気図



曇り

ジャパン建材 合板部
 部長 猪爪 清和

新設住宅着工戸数

2022年9月は73,920戸（前年同月比1.0%増）で2カ月連続の増加となった。その内、木造住宅は42,381戸（前年同月比6.1%減）で6カ月連続の減少となった。季節調整済年率換算値は85.7万戸で前月比5.1%減、先月の増加から再びの減少となる。

利用関係別では、持家が22,248戸（前年同月比13.3%減）で10カ月連続の減少、貸家は30,555戸（同比8.1%増）で19カ月連続の増加、分譲は20,766戸（同比10.1%増）で2カ月連続の増加となった。分譲の内訳はマンションが8,386戸（同比15.7%増）で2カ月連続の増加、戸建ては12,290戸（同比6.8%増）と17カ月連続の増加となった。持家は減少したが、貸家及び分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比1.0%の増加となった。

国内・輸入合板の供給量

9月の国内合板生産量は25.2万㎡（前月比104.7%、前年同月比91.2%）と発表された。その内、針葉樹合板の生産量は24.6万㎡（同比104.5%、91.5%）となり、出荷量は20.9万㎡（同比93.6%、77.2%）で在荷量は14.9万㎡となった。

輸入合板の9月度入荷量は20.1万㎡（前月比88.0%、前年同月比85.0%）となった。国別入荷量はマレーシアが5.9万㎡、インドネシア

が6.8万㎡、中国が4.6万㎡となっている。

今後の見通し

国内針葉樹合板は各メーカー減産を実施していたが、出荷量に急激にブレーキが掛かり、在荷量は一気に増加していた。そんな中、中国合板メーカーのJAS停止問題と東北合板メーカーでの火災発生により、今後の生産に影響が出ることは確実となり、市況雰囲気が変わった。

年末に掛けて配車難が予想されているため、必要量は先手で確保しておいた方がよい。

流通の立場としては、針葉樹塗装型枠など構造用以外の針葉樹合板の使用推進を強烈に行っていくことが、今後一番必要と考える。

輸入合板についても出荷量が鈍いこともあり、港頭在庫はアイテムによって差が出てきている。現地価格が多少調整されても現状の内地相場価格との乖離は大きく、今後入庫は落ち着きをみせる展開が予想される。

現地はこれから雨季を迎え丸太の出材量が絞られるため、生産量は減っていく見込みである。現在の国内市況は一服感があるものの、需要増加で荷動きが出てくると状況はすぐに変化すると思われるので、状況を常に把握することが必要と考える。

来年2023年は合板天気図が晴れの連続であることを望んで終わりたい。

ジャパン建材株式会社は「J-GREEN」事業を推進することで、人と環境にやさしい社会づくりに貢献してまいります。

今後、木質素材全般において、クリーンウッド法やSDGsに対応し環境に配慮した素材が急速に広まるであろう未来をお客様に認知して頂くため、動画を制作しました！

動画はこちらから▶



JKホールディングスグループはサステナブルな社会構築への取組を推進しています。

